

要 望 書



一般社団法人
富山県建設業協会

情報共有システムの試行について

平素から、富山県建設業協会に対しまして、格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

建設業は、生活の基盤を支える社会資本整備や維持管理の担い手として、更に地域の経済・雇用を支える基幹産業として、重要な役割を担っています。国の新しい経済対策により業界には久しぶりに明るい兆しが見られますが、長年にわたる公共投資の削減による現場技術者の処遇悪化等から若年入職者が減少し、人手不足が深刻化しており、地域によっては、これまで担ってきた災害対応や道路除雪が困難となりつつあります。

地域を支える建設業が健全な企業経営のもと、引き続き地域に貢献できるようご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、受発注者間においてインターネットを介した「情報共有システム」(ASP)を活用することは、情報伝達の迅速化、意思疎通の活性化及び施工管理業務の効率化などが図られることから、施工現場の生産性を向上させるうえで極めて有用な手段であると考えられます。

つきましては、当該システムの試行について、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年 2月 2日

一般社団法人 富山県建設業協会

会 長 近藤 駿明 